

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 リアルタイムデータ提供基盤整備事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部未来創成局
デジタル戦略推進課

デジタル推進係

電話番号：058-272-1111(内2724)

E-mail：c11178@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,032 千円 (前年度予算額： 65,017 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 65,017 | 26,141 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 38,876 |
| 要求額 | 10,032 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,032 |
| 決定額 | 10,032 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,032 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県では、「官民データ活用推進基本法」に基づき、県が保有するデータの活用を促進するため、令和2年度に「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」(PF)を構築し、利用者ニーズの高い河川水位や交通規制情報等の動的データを放送事業者等に提供してきたが、令和7年度にPFを再構築し、令和8年度からは汎用性のあるデータ連携基盤として運用する。

同時に、県民に対して分かりやすく利用しやすいデータ公開の手段として、データを地図上で表示できる地図ダッシュボードを運用する。

(2) 事業内容

データ連携基盤及び地図ダッシュボードの運用保守を行う。

(データ連携基盤の機能)

- ・ 県が持つ各種システム(河川情報、土砂災害警戒情報、被害情報、道路情報、道路雪情報)とデータ連携を行い、API公開と放送事業者へのデータ提供。
- ・ 公開可能なデータを「岐阜県オープンデータカタログサイト」と連携
- ・ 連携したデータを「岐阜県地図ダッシュボード」と連携

(地図ダッシュボードの機能)

- ・ オープンデータとして公開しているデータのうち、緯度経度情報を持つデータを地図上に表示

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|---------------------------|
| 委託料 | 10,032 | データ連携基盤運用保守、地図ダッシュボード運用保守 |
| 合計 | 10,032 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画 (R4.3)

第2章 目指す姿と政策の方向性

I 行政のデジタル化

1 行政手続のオンライン化・業務最適化

(3) データの利活用

① DX推進のためのシステム最適化

○ I D・データ連携の在り方、A I利活用の検討

(2) 後年度の財政負担

- ・データ連携基盤の運用は令和8年度から令和12年度までの債務負担。

(4) 事業主体及びその妥当性

県のDX推進に係る取組み（データの利活用）であるため、県が主体となり実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」を利用して、放送事業者等の民間事業者に安定した情報提供をおこなう。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R2) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R12) | 達成率 |
|------------------------|---------------|------------|------------|------------|---------------|------|
| | | | | | | |
| リアルタイムデータ提供基盤で提供するデータ数 | 8 | 19 | 10 | 10 | 10 | 190% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和4年度 | 下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム |
| | 指標① 目標： <u>10</u> 実績： <u>19</u> 達成率： <u>190</u> % |
| 令和5年度 | 下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム |
| | 指標① 目標： <u>10</u> 実績： <u>19</u> 達成率： <u>190</u> % |
| 令和6年度 | 下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム |
| | 指標① 目標： <u>10</u> 実績： <u>19</u> 達成率： <u>190</u> % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 雨量、河川水位、道路情報など、センサー等で取得されたデータを可視化しているが、二次利用可能なデータとして、タイムラグなく提供することが求められている。 |
| ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 3 | 放送事業者等の民間事業者に対し、指標以上のデータ提供を実施している。 |
| ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 避難情報、河川情報などのリアルタイムデータを放送事業者等の民間事業者に自動で配信する仕組みにより、データ提供の効率化を実現している。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新たなデータの収集を進めるとともに、データの利活用について広く呼びかける。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、放送事業者等の民間事業者に対し、安定したリアルタイム情報の提供を行う。 |
|---|